

研究会 「放射化分析及び中性子を用いた地球化学的研究-2-

日時：2019年1月25日（金）9:40 - 17:00 頃

場所：京都大学複合原子力科学研究所（旧 原子炉実験所）事務棟大会議室

9:40 はじめに 松尾基之

座長 関本俊

- 9:45-10:05 ミュオンを用いた非破壊同位体分析法の開発 二宮和彦（大阪大学）
- 10:05-10:25 飛行時間法を用いた即発ガンマ線分析による放射性核種の定量 藤 暢輔（JAEA）
- 10:25-10:45 小惑星リュウグウ試料用サンプルホルダーからの汚染の評価 白井直樹（首都大学東京）
- 10:45-11:05 環境多媒体中の抽出可能性有機塩素・臭素の中性子放射化分析 向井康太（京都大学）
- 11:05-11:20 中性子放射化分析法を用いた赤城大沼底質中に含まれる微量元素の定量 岡田往子（東京都市大学）
- 11:20-11:40 中性子放射化分析法による岩絵具に含まれる微量元素の測定 羽倉尚人（東京都市大学）
- 11:40-12:0 放射化分析併用重量分析法による高純度酸化イットリウムの純度評価 三浦勉（産総研）
- 12:00 - 12:50 昼食

座長 松尾基之

- 12:50-13:10 加速器施設廃止時における建物放射化の迅速な判定手法の開発（仮） 吉田 剛（KEK）
- 13:10-13:30  
放射化分析による加速器トンネル内コンクリート中の含有元素の定量値を用いたシミュレーション計算（仮）  
西川 功一（KEK）
- 13:30-13:40 JRR-3 の現状について 松江秀明（JAEA）
- 13:40-13:55 伊豆小笠原マリアナ弧創成期のフィリピン海プレート -ガラス質試料の ArAr 年代測定の可能性-  
石塚 治（産総研）
- 13:55-14:15 隕石の中性子照射による Ar-Ar, I-Xe 年代分析 竹之内 惇志（東京大学）
- 14:15-14:35 中性子照射と希ガス質量分析で明らかにする地球内部のハロゲンの起源 角野 浩史（東京大学）
- 14:35 - 15:00 休憩

座長 大槻勤

- 15:00-15:20 日本の遠洋性堆積岩から発見された白金族元素異常と巨大隕石衝突の痕跡 尾上哲治（熊本大学）
- 15:20-15:40 豊橋市石巻山は 2 1 5 Ma の隕石衝突を知っているか？ 鈴木和博（豊橋工業高校）
- 15:40-16:00 放射化分析による太古代縞状鉄鋼層の堆積環境の推定 勝田長貴（岐阜大学）
- 16:00-16:20 貧酸素水塊下にある東京湾底質の堆積環境に関する研究 松尾基之（東京大学）
- 16:20-16:35 NAA vs. ICPs (ICP-MS & ICP-AES)（仮） 海老原充（首都大学東京）

16:35- おわりに 大槻勤

16:45-17:30 日本放射化分析研究会拡大幹事会